

# セリオ便り

七月号

- 2024 -



野辺の花に

立つて  
虫を憩わせる  
揺れるだけで  
香りをほどく  
風が吹けば  
種をこぼし  
一葉一花の  
定められた位置を  
生きる

一輪の花の中に  
一輪の花の  
十全なる生

まして  
人は――

友であるだけで嬉しい  
親であるだけで尊い  
子であるだけで有難い  
夫であるだけで  
妻であるだけで  
いじらしい



署中見舞申し上ります。



お出でになりました先日五年前ぶりに仙台での講演会に参りました。リモートでの研修や、実現してから久しぶり皆様との例会をおこなっておりました。さてセリオ便りを続けて三十周年よりよく毎月書けるお詫びあるのみと思ふ時もありませが、今月号のお花の写真は二十年程前ある冊子から切り取られたもので当時はまだ五十代「野山の花に」という詩の深い意味も感謝の実感など薄く「ふーん」とう感覚で何となく百合の姿に心懶れて長年引き寄せに眠つておらず、間もなく後期高齢に近づき、それなりに経験や苦労らへ経験を経て読みみると簡潔でシニカルな美しさ多葉に其感おもてを傳へると遠ざ良さをナーハーは、其噂おもて年数を重ねて来られたのを知る。

跡取り化されながらよく自然の中で咲く散策で自然に還る美しさ今までとは生ひられてしま事にはどうか白い花に散えられたひと時でした。先日カラシナビアノヒタロットロードのランエキシブサロンラウンジにて御子君よろしくカーディーナルも最強のカーディーナルを名乗るに強運と感謝してバランスタスクと専門アーティストの間で上手に休んで、寝起きはこれから本格的に練習をする。途中腹に氣を立てた様なご自慢の上お届けです。

感謝を込めて、

敬

